

幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿(参考例)※		小学校学習指導要領			
例		生活科及び各教科等において関連する主な内容等(低学年)	理科、社会、総合的な学習の時間において関連する主な内容(中学年)	関係する主な教科等	
(ハ)	いろいろな人とのかかわり	<p>・小学生・中学生、地域の様々な人々に、自分からも親しみの気持ちを持って接する。</p> <p>・親や祖父母など家族を大切にしようとする気持ちをもつ。</p> <p>・関係の深い人々との触れ合いの中で、自分が役に立つ喜びを感じる。</p> <p>・四季折々の地域の伝統的な行事に触れ、自分たちの住む地域に一層親しみを感じる。</p>	<p>(生活)自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。</p> <p>(道徳)幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。</p> <p>(道徳)日ごろ世話になっている人々に感謝する。</p> <p>(道徳)郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。</p>	<p>(社会)地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめて調べる、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。</p> <p>(総合的な学習の時間)学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、児童の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。</p>	社会(中学年以降)、生活、道徳、総合的な学習の時間(中学年以降)
(ト)	思考力の芽生え	<p>・物の多様なかかわりの中で、物の性質や仕組みについて考えたり、気付いたりする。</p> <p>・身近な物や用具などの特性や仕組みを生かしたり、いろいろな予想をしたりし、楽しみながら工夫して使う。</p>	<p>(生活)身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付く、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。</p> <p>(図画工作)身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること。身近な材料や扱いやすい用具を手を動かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。</p>	<p>(社会)自分たちの住んでいる身近な地域や市(区、町、村)について、次のことを観察、調査したり白地図にまとめて調べる、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。</p> <p>(社会)地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめて調べる、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。</p> <p>(理科)物の重さ、風やゴムの力並びに光、磁石及び電気を動かさせたときの現象を比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもって追究したりものづくりをしたりする活動を通して、その性質や働きについての見方や考え方を養う。</p> <p>(理科)身近に見られる動物や植物、日なたと日陰の地面を比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもって追究する活動を通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、生物の成長のきまりや体のつくり、生物と環境とのかかわり、太陽と地面の様子との関係についての見方や考え方を養う。</p>	理科、社会(中学年以降)、生活、図画工作
(チ)	自然とのかかわり	<p>・自然に出会い、感動する体験を通じて、自然の大きさや不思議さを感じ、畏敬の念をもつ。</p> <p>・水や氷、日なたや日陰など、同じものでも季節により変化するものがあることを感じ取ったり、変化に応じて生活や遊びを変えたりする。</p> <p>・季節の草花や木の実などの自然の素材や、風、氷などの自然現象を遊びに取り入れ、自然の不思議さをいろいろな方法で確かめたりする。</p>	<p>(生活)身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることやそれに合わせて、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。</p> <p>(生活)身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付く、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。</p> <p>(道徳)身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。</p>	<p>(理科)身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。</p> <p>(理科)身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。</p> <p>(理科)日陰の位置の変化や、日なたと日陰の地面の様子を調べ、太陽と地面の様子との関係についての考えをもつことができるようにする。</p> <p>(総合的な学習の時間)学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、児童の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。</p>	理科(中学年以降)、生活、道徳、総合的な学習の時間(中学年以降)
(リ)	生命尊重、公共心等	<p>・身近な動物の世話や植物の栽培を通じて、生きているものへの愛着を感じ、生命の営みの不思議さ、生命の尊さに気付く、感動したり、いたわったり、大切にしたりする。</p> <p>・友達同士で目的に必要な情報を伝え合ったり、活用したりする。</p> <p>・公共の施設を訪ねたり、利用したりして、自分にとって関係の深い場であることが分かる。</p> <p>・様々な行事を通じて国旗に親しむ。</p>	<p>(国語)相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。</p> <p>(生活)公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなが使うものがあることやそれを支えている人々がいることが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。</p> <p>(生活)動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付く、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。</p> <p>(道徳)身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。</p> <p>(特別活動)自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しみとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。</p> <p>(特別活動)勤労の貴さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。</p> <p>(特別活動)入学式や卒業式などにおいては、その意義を踏まえ、国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導するものとす。</p>	<p>(社会)身近な地域や市(区、町、村)の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所の働き、交通の様子、古くから残る建造物など</p> <p>(社会)我が国や外国には国があることを理解させ、それを尊重する態度を育てるよう配慮すること。</p> <p>(理科)身近な昆虫や植物を探したり育てたりして、成長の過程や体のつくりを調べ、それらの成長のきまりや体のつくりについての考えをもつことができるようにする。</p> <p>(総合的な学習の時間)学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、児童の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。</p> <p>(総合的な学習の時間)問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめて表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。</p>	国語、社会(中学年以降)、生活、道徳、総合的な学習の時間(中学年以降)、特別活動
(ヌ)	数量・図形、文字等への関心・感覚	<p>・生活や遊びを通じて、自分たちに関係の深い数量、長短、広さや速さ、図形の特徴などに関心をもち、必要感をもって数えたり、比べたり、組み合わせたりする。</p> <p>・文字や様々な標識が、生活や遊びの中で人と人をつなぐコミュニケーションの役割をもつことに気付く、読んだり、書いたり、使ったりする。</p>	<p>(国語)言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。音節と文字との関係や、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くこと。平仮名及び片仮名を読み、書くこと。</p>	<p>(算数)具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚、量の大きさについての感覚、図形についての感覚を豊かにするとともに、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。</p>	国語、算数

幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿(参考例)※		小学校学習指導要領			
例		生活科及び各教科等において関連する主な内容等(低学年)	理科、社会、総合的な学習の時間において関連する主な内容(中学年)	関係する主な各教科等	
(ル)	言葉による伝え合い	<p>・相手の話の内容を注意して聞いて分かったり、自分の思いや考えなどを相手に分かるように話したりするなどして、言葉を通して教職員や友達と心を通わせる。</p> <p>・イメージや考えを言葉で表現しながら、遊びを通して文字の意味や役割を認識したり、記号としての文字を獲得する必要性を理解したりし、必要に応じて具体的な物と対応させて、文字を読んだり、書いたりする。</p> <p>・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わうことを通して、その言葉のもつ意味の面白さを感じたり、その想像の世界を友達と共有し、言葉による表現を楽しんだりする。</p>	<p>(国語)相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。</p> <p>(国語)言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。音節と文字との関係や、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くこと。平仮名及び片仮名を読み、書くこと。語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。</p> <p>(国語)楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。</p> <p>(生活)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。</p>	—	国語、生活
(ワ)	豊かな感性と表現	<p>・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにもちながら、楽しく表現する。</p> <p>・生活や遊びを通して感じたことや考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にいたり、つくり、演じて遊んだりする。</p> <p>・友達同士で互いに表現し合うことで、様々な表現の面白さに気付いたり、友達と一緒に表現する過程を楽しんだりする。</p>	<p>(生活)身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付く、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。</p> <p>(音楽)歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。声や身の回りの音の面白さに気付いて音遊びをすること。音を音楽にしていることを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。</p> <p>(音楽)楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。</p> <p>(図画工作)身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること。感覚や気持ちを生かしながらつくること。感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。好きな色を選んだり、いろいろな形をつかって楽しんだりしながら表すこと。</p> <p>(図画工作)感じたことを話したり、友人の話の聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。</p> <p>(体育)表現遊びでは、身近な題材の特徴をとらえ全身で踊ること。</p>	—	生活、音楽、図画工作、体育

※「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」(平成22年11月11日)に基づく整理。教育課程部会幼児教育部会において、本WG等の議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議。